

【チーム巡回指導】

◆日時：2025年8月4日（月） 18：30～20：00

◆会場：忍野村立忍野小学校グラウンド（クレー）

◆対象チーム：FCパルティエレ（忍野村）

◆対象指導者：大森充氏、滝田信悟U12コーチ

◆実施内容：

【テーマ】シュート シュートテクニックとシュート打つ・足を振る

W-UP ボールワーク 3vs1、対面キック

TR1 シュート

TR2 ゲーム

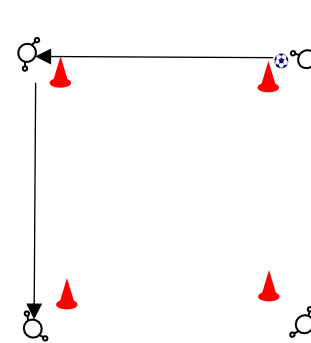
◆日時：2025年8月8日（金） 8：30～11：00

◆会場：富士吉田市鐘山多目的グラウンド（クレー）

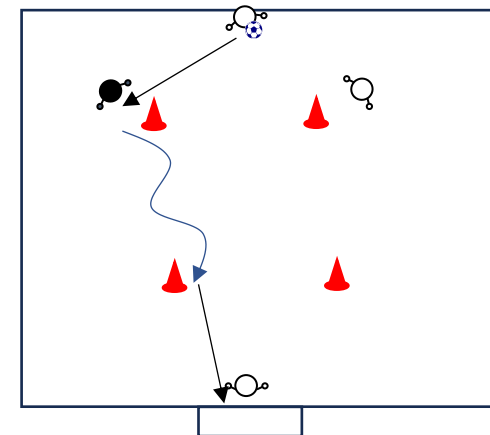
◆活動内容：富士山ジュニアフェスティバルにFCパルティエレが参加
その試合を視察し、選手と指導者に指導

◆対象指導者：滝田信悟U12コーチ

【W-UP】



【TR1】



試合の視察・指導の振り返り

結果 FCパルティエレ 3 - 1 秩父FC（埼玉県）

ゲーム前のW-UP、ポジティブな声かけにより選手たちの
雰囲気良かった。やらされてる感なし・・・。
シュートを積極的に打つプレーが多くみられた。滝田コー
チの話では、巡回指導後、シュート意識が強くなり、練
習の中でもキック練習をしている選手が目立っていた。
守備の意識も高く、攻撃から守備への切り替え時も、ベン
チから言われることなく、あたりまえにボールを奪いに
行っていた。

【ゲーム・トレセン視察 夏休み中①】

《2種》インターハイ @Jヴィレッジ 2回戦 山梨学院高校 vs 浜松開誠館高校 結果：2 - 0

両チーム登録選手に県内選手が、山梨学院高校に6人、浜松開誠館高校に2人 そのうちスタートは、学院の細田・影山選手、途中出場が、学院が手塚選手、浜松が磯部選手でした
後半スタート直後、ギアの入った日華選手がPK奪取、そして日華選手による追加点で2 - 0で勝利した

★彼を止めるセンターバックを育てられないか？ 彼がいるうちに・・・

★センターフォワードは、育てるもの、探すもの・・・??

🗣️コメント 内藤2種委員長 インターハイ視察

《3種》関東中学校サッカー大会 @神奈川県内 1回戦 城南中 vs 小山城南中（栃木県） 結果：2 - 1 第7代表権獲得 全中出場
石和中 vs 流通経済大柏中（千葉県） 結果：0 - 2

城南中 全員が攻守にわたりハードワーク 特に守備については、最後のところでやらせない、寄せ・強さ・球際など守備意識が強く、相手選手にフリーでプレーさせなかったのが、粘り強さにつながった

石和中 ポイントとなる選手（能力の高い選手）が攻守にわたっていただけに、結果は残念だった

🗣️コメント 佐野3種技術委員長 関東中学校サッカー大会視察
西川技術委員長 全国中学校サッカー大会視察



【ゲーム・トレセン視察 夏休み中②】

《国体》国体関東ブロック予選 男子U16 山梨県U16 0 - 6 茨城県U16 敗退

- ・力の差以上の差を感じた。 チーム茨城 vs チームになっていたか山梨
これは、チームスタッフ、そしてそれを支える我々含めた協力体制をいう
茨城県 スタッフ14人（ベンチ入りスタッフ、トレーニング準備スタッフ、県U15・U14スタッフ総出でサポート・・・）
山梨県 スタッフ6人（ベンチ入りスタッフのみ）

国体関東ブロック予選 女子U16 山梨県U16 1 - 1 (PK5-4) 千葉県U16、 2回戦：山梨県U16 3 - 0 栃木県U16

- ・直前の監督交代、しかし渡辺海新監督、前田コーチがお互いにリスペクトし、良くコミュニケーションをとりゲームの戦い方含めて雰囲気よく進めていた。
- ・ボールを大事にしながらか前線にボールを運ぶ、決して大きく蹴るのではなく、相手の出方を観ながら、ぶれずにビルドアップから攻撃でき、それを怖がらずにやり通したことは、選手たちをほめたい
- ・事前のVF甲府U14との試合、スピード感、シュートの強さなど、千葉県に対してのシミュレーションになったと感じる
- ・事前では相当強く力の差があるという情報であったが、先制点こそ奪われたが、その後は、あまりチャンスを与えないくらい守備をきちんとグループで行っていた。

🔪 コメント 相良サブダイレクター 視察
西川技術委員長 視察

★トピックス 来年度へのスタート スタッフ、およびチームの進め方 ➡ ワーキンググループ準備+Mtg



【FAコーチ通信発刊】

第1回FAコーチ通信を作成し、ホームページにアップしました。ご覧ください。技術委員会のディスカッションの内容などを掲載しています。何かご意見あれば何なりとください。

YFAテクニカル通信

---FAコーチ活動報告書---

第1回

2025年7月発行

初刊あいさつ

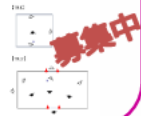
皆さん、こんにちは、この4月から山梨県サッカー協会のFAコーチに就任しました皆川です。常日頃フォルトゥナサッカークラブの指導者として、またFAのC・Dライセンスのチューターとして皆様と関わらせていただいています。4月からは、皆さんの指導現場にできる限り足を運び、コミュニケーションをとりながら、子どもたちのプレー環境の向上目指して突っ走ってきました。ちょっと疲れ気味です…正直(笑) FAコーチの仕事は、指導者養成、強化育成、普及、

女子・・・など多岐にわたる活動内容、自分の持っている力をフルパワーにして日々取り組んでいるところです。今後山梨県内中を1周ではなく2周3周する覚悟で皆さんの指導現場に足を運びますので、どうか気持ちよく迎えてください、お願いします。さてこの度、FAコーチの活動を皆さんに周知していくことと、もっと山梨のサッカーを良くしていくために皆さんと共に考えていく場として通信を発刊します。どうか一緒に進めていきましょう

FAコーチ活動報告

4月18日 FAコーチ巡回指導

私の主な活動として位置付けている巡回指導。3種4種に案内をしたものの、なかなか希望がこない中で1回目の指導。チームは笛吹市内の中学校の選抜チーム、そしてその先生たちの現場を訪問した。



募集中

5月24日 4種県トレセン巡回指導

4種県トレセン、育成のスタートともいえる4種年代、そのトレセンに一日帯同した。会場は、YSK農村G、女子、U11、U12と楽しい一日を過ごした。そのなかで1対1の守備の対応について考えた。指導者の考え方、伝え方には様々あって、それが正しいかと正しくないかとではなく、目の前の子どもたちのプレーが結果どうなっているのかを観察して、改善してあげることが重要だと感じた。

5月27日 県技術委員会参加

県技術委員会に何年振りかに参加した。山梨県のサッカーの行く末を担うそれぞれの部門のチームが集まる重要な会議、この会議をどうにか生産性のある会議、参加する方々に責任感を感じてもらえる会議にしていきたいと思っているのぞんだ。この会議で話した内容が、県全体のチーム・指導者に届けて行くことが使命だと痛感する

6月22日 JFAマジカルフィールド

JFAとディズニーの協働イベントが小瀬スタジアムで開催され統括チーフコーチとして全体を観ながら関わった。午前午後で親子195組、うち8割の未経験者が集まってくれた。当日はふじざくらの選手たちが主導で子どもたちを指導してくれた、楽しい一日!

5月17日 U18ユースリーグ視察

県U18リーグを明野いこいの杜グラウンドでVF甲府Bvs東海甲府高の試合を視察してきました。前半中盤過ぎ、3失点を喫したVF甲府の選手たちは選手たち自ら円陣を組み、プレーのやり方を話し合ってからラスト10分を実行、見事に試合の流れを変えて、FKから得点も獲得した。後半楽しみながら戦ったが、ハーフタイム後は、なんか戦いが元に戻った感じ・・・結局追加点を奪われた。選手たちはどうサッカーをしたかったんだろう?、ちょっと疑問に感じた試合だった。選手たちが意図的に解決していく方法を我々は見守っていき



トピック

シュートについて考える

今回、皆さんとシュートトレーニングについて、一緒に考えてみようと思います。普段の練習でどのようなシュートトレーニングをしていますか?

そもそもキックという技術の観察はいかがですか、ゲームの勝敗を左右するシュート、案外見過ごしていることが多いかも・・・ここでチェック!

6月24日 山梨県サッカー協会 技術委員会から

《皆川》シュートを打つ重要性、通常のトレーニングでシュート練習をどのように行っていますか?

シュートのテーマで参加者皆さんでディスカッションしたことが以下の通り

<p>4種技術委員長</p> <p>シュート練習行っているが、シュートを打つ前の身体の向きなどに、フォーカスがいき、シュートの質は追及できていない</p>	<p>3種委員長</p> <p>キック時の踏み込んで打つという指導はしているが、利き足のみのキックしかしていない、またGPがひとりに対応なので、全シュートに集中できない状況です</p>	<p>皆川</p> <p>GPの立場でシュート練習についてはどう感じていますか?</p>	<p>GPプロジェクト</p> <p>シュート練習は常にやってほしい、コーチによるGP練習だけでは観察できない所がある、選手が打つことでリアリティがでる、シュート打たれる前の準備、ポジションなどの観察含めてGP育成にはシュート練習は重要</p>
<p>女子技術委員長</p> <p>ゲームから切り取ってシュートシーンを明確にしオーガナイズする、腕の使い方、身体で相手ブロックしながらシュートを打たねばならない状況を創り出している、なのでわざと悪い状況を設定して練習を行っている</p>	<p>チューター</p> <p>雪国はフットサルを多く取り入れ、その中でシュート打つ場面が多いゲームを行っている、環境大事</p>	<p>2種技術委員長</p> <p>指導上で打って打て、とは言っているが、具体的な技術観察はない、ボールを大切にすることなどにフォーカスしがち</p>	

シュート練習、選手たちにとっては楽しい練習、個人での自主トレでもゴールに向かってキックする選手たちを多く観る、そんなシュート練習を、もっと選手たちにとって学びがあるものにしていくために、

- ①テクニック(キック技術)の観察と伝達
- ②リアリティのあるオーガナイズ
- ③シュート側の不利な設定ルールでスタート時間もスペースもない、そして強靭な対人が必要とする場面を考え、練習環境を創出することが必要!

インフォメーション

3種・4種指導者対象 リフレッシュ研修会参加者募集

【訪問(巡回指導)型リフレッシュ研修】 期日: 2025年8月10日(日) 会場: フォルトゥナ・アルプス・プラッツ 時間: 15:00受付 15:30開始 *協会ホームページに申し込み案内あり 目の前の子どもたちのために学びを!

子どもたちの安全・安心 命をもまらるのは我々大人!

熱中症、雷、脳震盪、様々な感染症など、さまざまな事案が我々の活動、子どもたちの安全・安心を脅かします。その事案に對峙するのは我々大人、それぞれの知識、対応力をきちんと身につけたうえで、活動を楽しみましょう!

【今後重点活動】

★各種別、関東MTM（4種）、ナショナルトレセン選考会（3種）などの選手選考に関する活動が9月は多い。

- ・前回のタレントID（選手の見極め）などをもう一度スタッフ間で共有し、選考にあたる（前回の資料参照）
- ・山梨県の選手が、NTC・代表に選考されるように、そんな力をつけていけるように働きかけをしていく

★FAコーチ巡回指導の継続

- ・トレーニング+ゲーム指導（別日）というセットでやる方向
- ・GKコーチを帯同してチームのGK指導も取り入れていきたい・・・（GKプロジェクトとの連携）

★普及 SSG（スモールサイドゲームへのチャレンジ） f APでの開催・振り返り資料参考

★指導者養成

- ・Bライセンス養成講習会 再スタート
- ・Cライセンス養成講習会 VF甲府コーススタート

★トレセンスタッフ研修会の開催 開催するタイミングを逃しています・・・・。
9月からの活動に向けて、ベクトル合わせと選手評価基準合わせ

【JFAタレントID】 選手選考の目線合わせ・・・発掘と診断（評価）

都道府県TCU14/13招集選手 ➡ 4月～9月生まれの選手が大半 早生まれ（1月から3月生まれ）極端に少ない
しかし、日本代表選手は、4月～3月生まれ どの月もまんべんなく選考されている

っということ、もしかしたら代表選手の早生まれ選手は、同年代のエリート、NTC活動に召集されていない・・・
高校生・大学生になってから評価されている

そういう選手にも、早くからアプローチをしたい （もしかしたら、せっかくのタレントが生涯埋もれる状況に！）

そのためには、発掘・評価方法などを見直していく必要がある ➡ FA独自に考えていきたい

★バイアス（無意識の偏見）の排除 ・・・・選考するスタッフの偏見・思考で選手の選考がされることを防ぐ・・・
その偏見で、選ぶことが、排除することにつながってしまっていないか？

➤自分自身のバイアスを認識

★バイアス（無意識の偏見）

SPEED

パスがうまい

デュエルが強い

賢い

左利き

チーム

声を出す

背が高い

【JFAタレントID】

■TIDシステム ログイン用URL

URL : <https://app.jfa.jp/measure/>

- ・各種別技術委員長 トレセン・またはゲーム視察で、気が付いた気になった選手の登録をお願いしたい
- ・多くの人の意見を尊重！
- ・このデータをベースに多くの人の目で追跡していく！